

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2017-01-18

APM news 166

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233

第39回課外授業 上組小学校6学年 第2回小学生美術館大学
才能で生きる一人旅

11月24日(木) am11:00~pm0:00
参加者:78名/講師:秋山孝



秋山孝ポスター美術館長岡 (APM) は、長岡市立上組小学校 (上組小) の校区内にある。APMの活動目的にある「教育」「地域貢献」の下、開館当初から様々な連携授業を行ってきた。6学年の「総合的な学習の時間」もその一つだ。今年度の教員が掲げた学習テーマは「つながろう～アートを通して広がる世界～」だ。その中でAPMでは、5月と8月に展示鑑賞学習を行い、10月にはAPMコレクション「宮内・摂田屋百景」から生徒が選んだ10点を貸し出し、上組小校内で展示会を開催した。そして、11月24日に6学年全員がAPMに来館し、授業を行った。この授業は、「地域の人や表現活動をする人との触れ合いを通して自身の生き方を考えようとする態度を育てる」ことを目標としており、その触れ合う人の一人にAPM館長・秋山孝が選ばれた。

秋山は、自身の人生を「才能で生きる一人旅」と表現し、彼らに優しく語りかけた。人は一人では生きていけない。多くの人の中に「自分」が存在するのだ。その中で、他者とは違うもしくは他者よりも得意な事を1つ持つ事が重要であり、それが才能になると強く語った。才能とは、生まれ持って備わった特別な能力であると捉えられがちであるが、秋山の考えはそうではない。自分が興味を持ったものや好きな事を突き詰める事で、他者よりもその分野に長け、それが才能になるという考え方なのだ。秋山は幼少期から好きな鳥の話などを例に挙げながら、その事を生徒へ語りかけた。話のまとめとして、秋山が生徒達へ送ったメッセージは「好きな事を見つけ、やり続けよ」であった。「見つける」という部分を「決める」という言葉に置き換えても良い。好きだと決めた事を好きだと言いつつ、やり続ける事で、周りもそれを認識し、おのずと道が開けるといふ。好きな事であっても、時には辛さや悲しさなどの障害が発生する。それでも続けなければならない。だが、「好き」という強い気持ちがあれば、乗り越える事ができるのだと秋山は語った。

この講演中、メモを取る為の時間を3回設けた。秋山が語る間は話に集中し、心に残った言葉を3つその時間に書留させた。これから彼らは何を自身の才能と決め、進んでいくのだろうか。その道には大きな壁が立ちはだかる時もあるであろう。そんな時、今回持ち帰った3つの言葉を思い出してほしい。(たかだみつみ・APM事務局長、学芸員)